

符67  
243

樂曲  
秋風曲

石川歌村著



301  
201



天保のころ、京の光緒館は、高向山人の所作「長恨歌」和舞の一冊を得て、末代に  
 贈さんほどの大曲の料となし、これが作曲を思ひ立つた。  
 檢校つら／＼憶ふには、かばりの大作は一運に神の冥福によるの他はないと、高向山人  
 の仙島と解へられる、かの竹生島の社に百鬼の霊魂を心掛けた。曲で満願の宵夜のこと、  
 舞終て、まさに社殿を射して廣野にいらると、何處ともなく妙なる爪音の神道な曲  
 れて舞えて来る、心ある者は思はずも歩を停めてそれに聞き入った。  
 曲は空佳境に入て柱の上は波立つて来た。日頃當代一の名家と人もゆるし自らも任じて  
 るた檢校も、何人の手すきみか知られど、この靈妙な技を聞いては、思はずも背の汗を  
 滴し得なかつたのであつた。  
 か、今の「手」の活え、あゝあの「由の手」の色、如何にせばあのやうに美しくは出  
 来やう、それによつた注の案紙の可きなど、しりりと感じて聞き惚れてゐると、ま  
 りと曲が止んで餘韻未だ耳を去りやらず、折柄顔面拂ふ朝風に吹かれる松の葉の風々も  
 その音に通ふやうであつた。  
 まつと一響、遠末の塵の舞元に移したと思ふと、こは如何に、身は勿論に轉換してあ  
 りて、これぞ舞臺の一歩であつた。檢校は身はこぼれて感じた。か、天女の姿をけでゐると、  
 舞臺の涙さめあへず、京に、へつて「秋風の曲」の大作を完成した。(資料館蔵書印)

明治  
43. 4. 16  
内蔵



詞

秋風の曲

故高向山人 作歌

もとむれそえがたきは  
 色になむありける。  
 さりとは、楊家の女こそ  
 妙なるものぞかし。  
 雲の鬢花の顔  
 實に海棠のねぶりさや。  
 大君の、はなれもやらで  
 ながめあかしぬ。  
 みせりの花のゆきつもせりつ。  
 いかにせむ

けふ九重にひきかへて、  
 旅寐のそらの秋風  
 霓裳羽衣の仙樂も、  
 馬塊の夕に、  
 蹄の塵を吹く  
 風の音のみ残る悲しさ。  
 西の宮、南の園は秋草の露しけく、  
 落つる木の葉の、  
 ささはしにつもれそ誰か拂はむ。  
 鴛鴦の鬢は  
 霜の華匂ふらし。  
 翡翠の衾ひとり着て、  
 なぞか、夢を結はむ。

作 歌 ..... 故 蒔 田 雲 所  
作 曲 ..... 故 光 崎 檢 校  
作 譜 ..... 鈴 木 鼓 村

天保八年作曲

301

201

つゝしみてこの曲譜をば  
竹生島の神に捧げまつる

秋風曲

高向山人作歌  
光崎檢校作曲

1—A in F.

秋風調

NO.1.

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 中

Moderato.

序

NO.2.

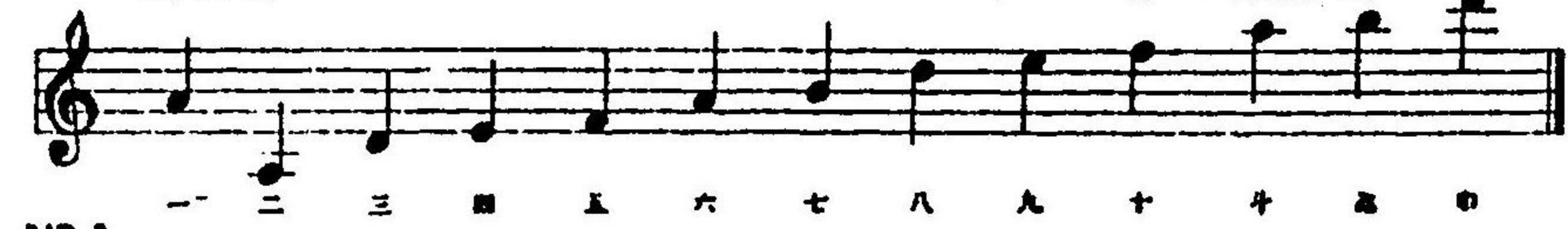
NO.3.

秋風曲

高向山人作歌  
光崎檢校作曲

1—A in F.

秋風調



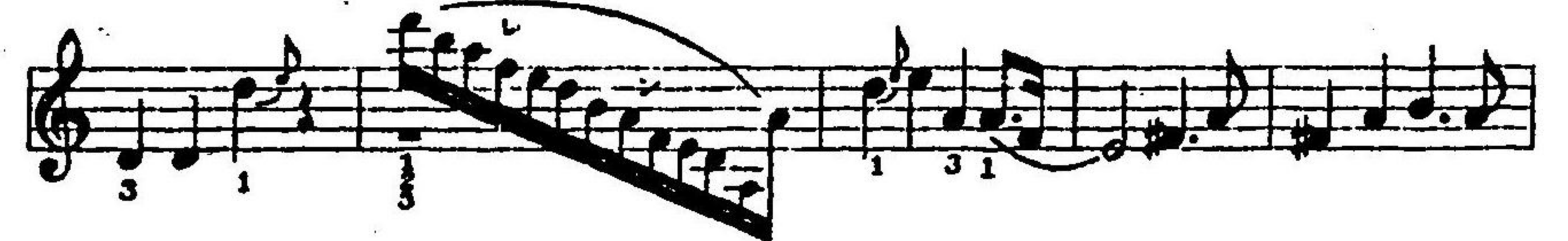
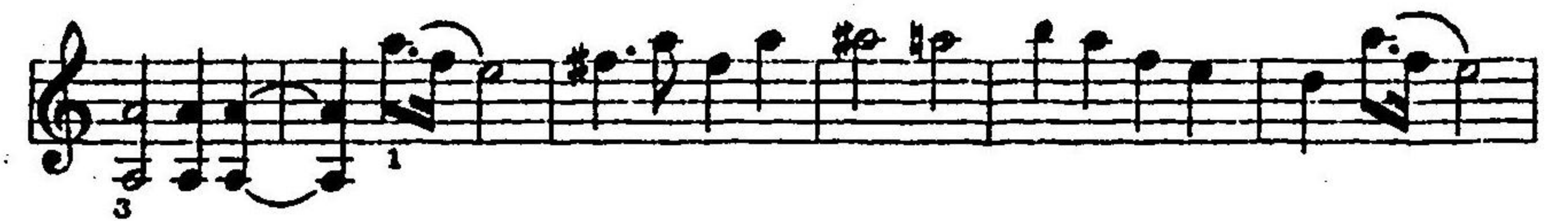
NO.1.

Moderato.

序



NO.2.

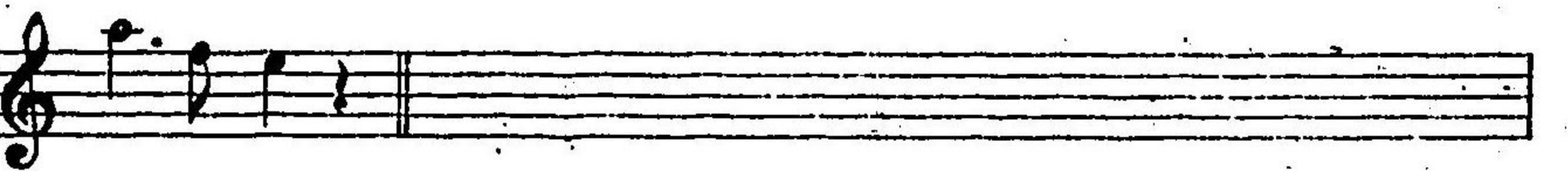
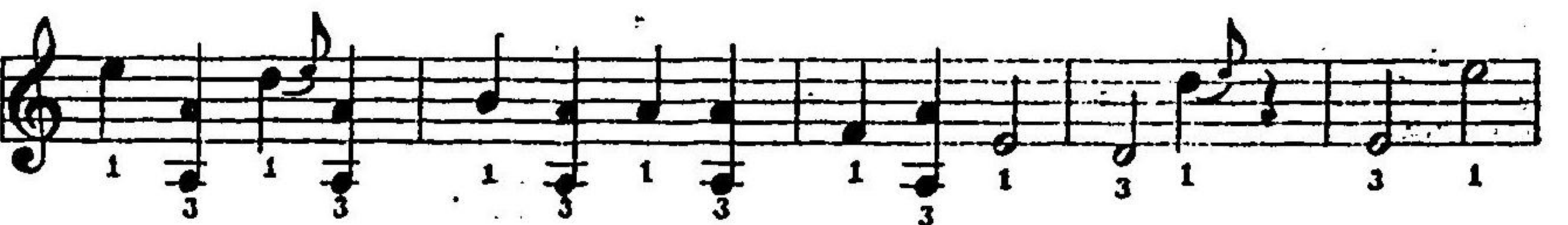
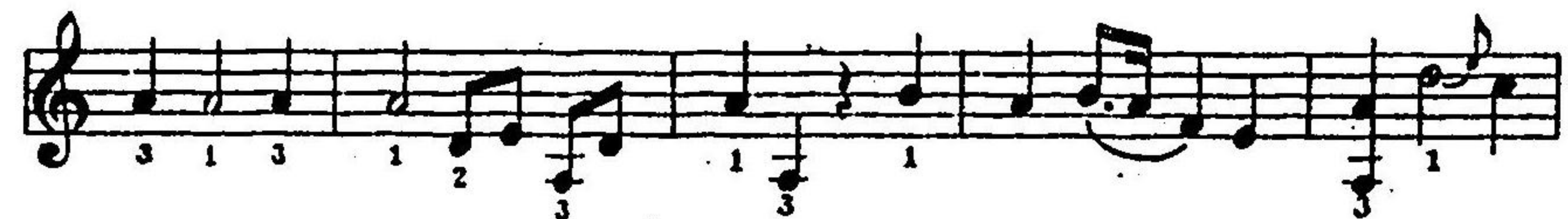


NO.3.

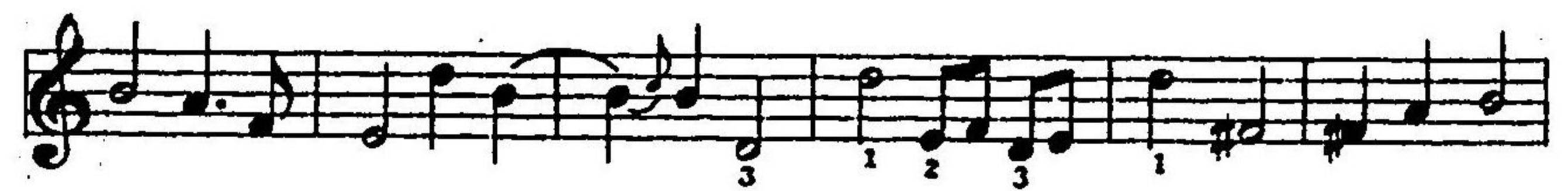




NO. 4.



NO. 5.



NO. 6.





スリカヘレ  
V.V. V.M.

秋風曲

Lento.

歌

し - と - じ - - - ね - - - - - ぶ -

- え か - - た - - - き - - - は -

- い ち - - に - - - は - - - じ -

- - め り - - - け - - - る - - -

3 リ - と - - - - - 2 - - - - - 2 - - - - - 2 - - - - - が

- - の - - - - - め - - - - - 2 - - - - - 2 - - - - -

- た - - - - - な - - - - - る - - - - - し

の - - - - - ゑ - - - - - か - - - - - し - - - - -

く し - の - - - - - び ん - - - - - づ - - - - -

ら - は な - の - - - - - か ほ - - - - -

げ に か - - - - - い - た - - - - - う - - - - - の - - - - - お ぶ

- り - - - - - と -

おほき --- み --- の ---

はなれし --- や --- ら --- ー ---

--- なか --- め --- あ --- か

--- し --- ら ---

みど --- り --- の --- は --- ら ---

の --- かき ---

--- つ --- し --- ど --- り --- つ --- つか ---

に --- せ --- び ---

け ふ - - - の - - -

*accel.*

- - - に - ひ き - か -

- - - て - - たび - ね - の - そ - - - ら

- - - の - - - あ き - か - ぞ - - -

V.V.

げい - しゃう 3 - - - の - - -

せ ん - - が - く - - - - - - - - - ば

くわ - - - の - ゆふ - - - - - に -

ひ づ - - - め - - - - -

ち り --- せ --- よ --- く ---

か ら --- せ --- と --- き ---

の --- ち ---

か --- し --- き ---

に し --- の --- き ---

P. atempo.

み な --- の --- の ---

あ き --- く --- き ---

つ き --- し --- げ --- く ---

おつ - - る - - - -

こ の - は - の - き ん - は - - - - し -

- - - - に - - つ し - - ら - ど - - た - ら - -

- か - は - - ら は - - - し - - - -

あ ん - の - - - - - の - - - -

か は - - ら - - - は - - - - し

し - - の - - は - な - - - -

に - は - ふ - - - ら - - - し - - - - じ

すーあー のーふーすー

ひーとーりーきー

ーてー ーなどー ーかーゆー

ーゆーとーむー ーすー ーばーむー

rit.

橘	静	紅	おも	箏曲樂譜近刊豫告
姫		梅	ひで	
鈴高	鈴高	鈴薄	鈴薄	
木安	木安	木田	木田	
鼓月	鼓月	鼓泣	鼓泣	
村郊	村郊	村鼓	村鼓	
作曲	作曲	作曲	作曲	

明治四十三年四月九日發行  
明治四十三年四月十六日發行

定價五十錢

不許複製  
及改作

東京市墨田區水田町三丁目二十七番地  
著作者 鈴木 敏 村  
東京市日本橋區區本町三丁目十四番地  
發行所 瀧川 民 治 郎  
東京市日本橋區米澤町二丁目八番地  
印刷者 中 島 米 吉

發行所

東京市日本橋區區本町三丁目十四番地  
今古堂書店

電話 漢花四六五九  
總發行所 東京四九〇七



